

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	D X、学校教育
日 時	令和6年2月19日(月) 9:00 ~ 15:00
場 所	特別会議室ほか
出 席 者	<p>藤沢市政顧問 (D X)</p> <p>小紫市長、山本副市長、森本C D O補佐官、領家地域活力創生部長 森デジタル推進課長、岡田デジタル推進課課長補佐、立田スマート シティ推進室長 (学校教育)</p> <p>中田教育指導課課長補佐、小泉教育指導課指導主事、池下教育指導 課指導主事、杉山教育政策室主査 増田企画政策課企画官</p>
主な意見 (概要)	<p>DX (9:00~11:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政省力化におけるデジタル活用 <ul style="list-style-type: none"> ・コア、ノンコア業務の仕分けにあたっては、生駒市が職員に対して、何を大切に考えるのかを先に決めておくことが大切。 ・業務の棚卸は、まず職員自らが行うステップが必要。その際、伴走支援と職員にとってのメリットも併せて提供するとよい。 ●住民参加とDX <ul style="list-style-type: none"> ・公共が何を担うのかの整理も大切だが、そもそもの公共の定義を押さえておくことが必要。 ・公助、共助の仕分けにあたっては、住民から見た課題と市が考える課題の両方の棚卸とマッピングが必要。 ・行政の対面サービスで課題を探し出そうとしても、真の課題を住民が言語化できないことが多く、個別対応では限界がある。言語化スキルの底上げのために、自治会長やPTA向けの研修などで受講し、スキルを習得された方にはデジタルバッチを付与する等、デジタルが活用できる。 <p>学校教育の現場視察など(11:30~15:00)</p>

●俵口小学校

授業改善（自由進度学習、デジタル端末を活用した授業）の状況を視察

●生駒小学校

石村校長から現場における教育改革、学校マネジメント、地域協働等について説明を受けた

●教育指導課指導主事と意見交換

○管理職や中堅教諭を対象とする研修方法や研修内容について

・学校の教員が越境して学ぶ機会を創るために、例えば教育系の企業に出向するような研修を検討してみても良いのでは。

○学校で進みつつある授業改善について、保護者、地域等の理解を促していくことについて

・保護者世代は、今変わりつつある新しい形態の授業を受けたことがないため理解が難しい。丁寧に広報を進め理解を促すことが重要。

○生駒市の地域性について

・生駒市は、新興住宅地が多い一方、長くその土地に住んでいる方もおられる。保護者の方の習い事への意識も違うのでは。